2020年度新規導入データベース募集要領

2020（令和2）年11月17日

図　　書　　委　　員　　会

2020年度のデータベース導入希望の受付を下記のとおり実施します。下記の要領をご確認のうえ手続きを行ってください。

記

１．応募資格 専任・特別任用教員、図書館専任事務職員

２．対象とするデータベース

（１）継続データベース

「データベース」、「電子ジャーナルパッケージ」、「アグリゲータ」とし、以下の3つのカテゴリーに分類する。

|  |
| --- |
| ＜注＞　なお、今回新規導入されるデータベース（継続分）については、来年度以降も継続して導入することを前提とするが、当該データベースの予算確保の見通しが困難となった時点で、既存のデータベースに優先して継続導入の見直しを行う。また、既存のデータベースと同様に、毎年、データベース見直し基準に基づき見直しを行う。 |

（２）買い切りデータベース

「データベース」、「電子ジャーナルパッケージ」、「アグリゲータ」とし、以下の3つのカテゴリーに分類する。

【カテゴリー】

①　共通学習用データベース

総合大学として学習のために備えておくべき基礎的なもので、学系を問わず全てのあるいは大多数の学部・研究科で必要となるデータベースとする。

②　共通研究用データベース

総合大学として学系を問わず研究のために備えておくべき基礎的なデータベースあるいは人文科学・社会科学・自然科学系の各々において研究の基礎となるデータベースとする。

③　個別研究用データベース

個別の研究分野ないし研究領域において優れた研究を創出するために必要なデータベースとする。

３．選定基準

（１）共通学習用データベース

以下の4項目の選定指標を「1」から「5」の5段階で評価する。

【選定指標】

a．全学的な利用の可能性　　　　　 b．学生の教育・自主的学修支援への寄与

c．学部生・大学院生からの要望度 d．総合的な評価

（２）共通研究用データベース

以下の4項目の選定指標を「1」から「5」の5段階で評価する。

【選定指標】

a．学部横断的な利用の可能性 b．専門分野としての必要性

c．学部・大学院からの要望度 d．総合的な評価

（３）個別研究用データベース

以下の4項目の選定指標を「1」から「5」の5段階で評価する。

【選定指標】

a．研究活動に対する必要性 b．大学院教育に対する波及効果

c．データベースの独自性 d．総合的な評価

４．予　　算

（１）継続データベース　　　　7,000千円

【内訳】 　①　共通学習用データベース 2,000千円程度

②　共通研究用データベース 2,000千円程度

③　個別研究用データベース 2,000千円程度

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※ 内訳金額は、応募内容によって流動します。

（２）買い切りデータベース　32,845千円

【内訳】 　①　共通学習用データベース 10,000千円程度

②　共通研究用データベース 10,000千円程度

③　個別研究用データベース 10,000千円程度

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※ 内訳金額は、応募内容によって流動します。

５．申請方法　データベースの分類ごとに別紙の導入希望申請書（様式１～３）に必要事項を記載し、申請書とあわせて導入希望タイトルのパンフレット、カタログ等を添付して（デジタルデータでの提出も可とします）図書館事務部へ提出ください。

６．申請期間　 2020年11月17日（火）～12月3日（木）【17:00必着】

７．選定結果

　　電子系資料選定委員会で選定し、2020年度第6回図書委員会において決定する。

８．備考

　見積もり段階で、「買い切り」可能なデータベースであることを、十分確認して申請してください。　　「買い切り」で申請した際、「継続」としてしか導入できないと判明した場合は、採用された後でも、不採用として扱います。

９.申請書提出・お問い合わせ先

深草図書館：村穂（内線）1205　Email: muraho@ad.ryukoku.ac.jp

大宮図書館：半井（内線）5071　Email: nakarai@ad.ryukoku.ac.jp

瀬田図書館：栗林（内線）7754　Email: kuri@ad.ryukoku.ac.jp

以上

共通学習用データベース導入希望申請書　【様式1】

申請日：　　　　年　　　月　　　日

|  |  |
| --- | --- |
| 代表申請者 | 所属：　　　　　　　　　　　氏名：連絡先（内線）：　　　　　　　　　　　　　　E-mail |
| 共同申請者 | 所属：　　　　　　　　氏名： | 所属：　　　　　　　　氏名： |
| 所属：　　　　　　　　氏名： | 所属：　　　　　　　　氏名： |
| 所属：　　　　　　　　氏名： | 所属：　　　　　　　　氏名： |
| 所属：　　　　　　　　氏名： | 所属：　　　　　　　　氏名： |
| 所属：　　　　　　　　氏名： | 所属：　　　　　　　　氏名： |
| データベース名 |  | 種別 | ・データベース・電子ジャーナルパッケージ・アグリゲータ |
| データベース提供機関 |  |
| 取扱代理店 |  |
| 価格 年額（見積額） | 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　円（税込） |
| 購入形態 | □継続 □買い切り |
| 同時アクセス数 | □無制限 □その他（　　　　　　　　） |
| 利用場所 | □学内・学外 □学内のみ |
| データベースの概要 |  |
| 利用授業科目 | 科目名：　　　　　　　　　　 | 科目名：　　　　　　　　　　 |
| 科目名：　　　　　　　　　　 | 科目名：　　　　　　　　　　 |
| 利用者数・利用回数（見込み） | 利用者数：　　　　　　　　　　 | 利用回数：　　　　　　　　　　 |
| 購入希望理由・授業での利用計画 |  |
| 期待される効果 |  |
| 全学的な利用の可能性 |  |
| 学生の教育・自主的学修支援への寄与 |  |
| 学部生・大学院生からの要望度 |  |

共通研究用データベース導入希望申請書　【様式2】

申請日：　　　　年　　　月　　　日

|  |  |
| --- | --- |
| 代表申請者 | 所属：　　　　　　　　　　　氏名：連絡先（内線）：　　　　　　　　　　　　　　E-mail |
| 共同申請者 | 所属：　　　　　　　　氏名： | 所属：　　　　　　　　氏名： |
| 所属：　　　　　　　　氏名： | 所属：　　　　　　　　氏名： |
| 所属：　　　　　　　　氏名： | 所属：　　　　　　　　氏名： |
| 所属：　　　　　　　　氏名： | 所属：　　　　　　　　氏名： |
| 所属：　　　　　　　　氏名： | 所属：　　　　　　　　氏名： |
| データベース名 |  | 種別 | ・データベース・電子ジャーナルパッケージ・アグリゲータ |
| データベース提供機関 |  |
| 取扱代理店 |  |
| 価格 年額（見積額） | 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　円（税込） |
| 購入形態 | □継続 　　□買い切り |
| 同時アクセス数 | □無制限 □その他（　　　　　　　　） |
| 利用場所 | □学内・学外 □学内のみ |
| データベースの概要 |  |
| 利用授業科目 | 科目名：　　　　　　　　　　 | 科目名：　　　　　　　　　　 |
| 科目名：　　　　　　　　　　 | 科目名：　　　　　　　　　　 |
| 利用者数・利用回数（見込み） | 利用者数：　　　　　　　　　　 | 利用回数：　　　　　　　　　　 |
| 購入希望理由利用計画 |  |
| 期待される効果 |  |
| 学部横断的な利用の可能性 |  |
| 専門分野としての必要性 |  |
| 学部・大学院からの要望度 |  |

個別研究用データベース導入希望申請書　【様式3】

申請日：　　　　年　　　月　　　日

|  |  |
| --- | --- |
| 代表申請者 | 所属：　　　　　　　　　　　氏名：連絡先（内線）：　　　　　　　　　　　　　　E-mail |
| 共同申請者 | 所属：　　　　　　　　氏名： | 所属：　　　　　　　　氏名： |
| 所属：　　　　　　　　氏名： | 所属：　　　　　　　　氏名： |
| 所属：　　　　　　　　氏名： | 所属：　　　　　　　　氏名： |
| 所属：　　　　　　　　氏名： | 所属：　　　　　　　　氏名： |
| 所属：　　　　　　　　氏名： | 所属：　　　　　　　　氏名： |
| データベース名 |  | 種別 | ・データベース・電子ジャーナルパッケージ・アグリゲータ |
| データベース提供機関 |  |
| 取扱代理店 |  |
| 価格 年額（見積額） | 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　円（税込） |
| 購入形態 | □継続 □買い切り |
| 同時アクセス数 | □無制限 □その他（　　　　　　　　） |
| 利用場所 | □学内・学外 □学内のみ |
| データベースの概要 |  |
| 利用者数・利用回数（見込み） | 利用者数：　　　　　　　　　　 | 利用回数：　　　　　　　　　　 |
| 購入希望理由利用計画 |  |
| 期待される効果 |  |
| 研究活動に対する必要性 |  |
| 大学院教育に対する波及効果 |  |
| データベースの独自性 |  |